

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 4 4 号

【平成 24 年 9 月 6 日 (木) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

I. 復興本部からの情報提供

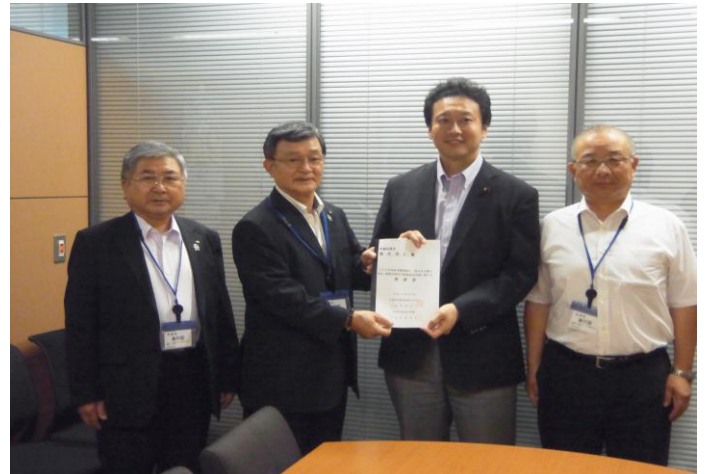
1. 菅原中央会長らが県選出国會議員に TPP 阻止、復旧・復興対策など要請
2. J A バンク香川の役員らが視察研修で来県し、義援金贈呈
3. 世界各国の農政ジャーナリストから義援金
4. 宮城県 J A 農機担当者連絡協議会と県系統農機メーカー連絡協議会が義援金
5. JA 全農山形と全農みやぎが亘理町の仮設住宅で復興支援交流会
6. 竹中副会長らが山形を訪れ、全農山形の一連の支援に感謝
7. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 12 次請求
8. J A グループ宮城が亘理町などで復興ボランティア活動

I. 復興本部からの情報提供

1. 菅原中央会長らが県選出国會議員に TPP 阻止、復旧・復興対策など要請

J A 宮城中央会と宮城県農協政治連盟の菅原章夫会長は 8 月 8 日、東京都内の議員会館で、本県選出国會議員に、「環太平洋連携協定 (TPP) 交渉参加断固阻止・東日本大震災復旧・復興対策に関する要請」を行いました。TPP 交渉より、被災地の復旧・復興対策を優先し、東京電力原発事故対策を行うよう強く申し入れしました。

要請には中央会の竹中莞爾副会長、佐藤純一常務らが同席しました。



橋本清仁議員に要請する菅原会長ら

2. J A バンク香川の役員らが視察研修で来県し、義援金贈呈

J A 香川信連の宮武利弘経営管理委員会会長ら 16 人が 8 月 24 日、J A 宮城中央会を訪れ、J A グループ宮城に義援金を贈りました。J A バンク香川ではオリジナル企画として昨年 8 月 1 日から「東北農業応援定期貯金アグリ」の取り扱いを開始、1 年間で約 148 億円の預け入れがあり、このうち 0.1%に相当する 1479 万円を J A バンク香川が拠出し、被災した岩手、宮城、福島の中央会に寄贈しました。

宮武会長は今年 2 月にも仙台を訪れ、J A グループ宮城に中間義援金を贈っています。

再度来仙した宮武会長は「東北を応援するために、役員らが一度現地を見ておこうと、やってきました。復興に役立ててください」とJA宮城中央会の菅原会長に義援金を贈りました。

菅原会長は「震災直後から物心両面の支援をいただき大変ありがたい。必ず復興することをお誓いします」と、感謝しました。

一行はこの後、JAみやぎ亘理を訪れ、管内の復興状況などを視察しました。



3. 世界各国の農政ジャーナリストから義援金

農政ジャーナリストの会の村田正氏が8月6日、JA宮城中央会を訪れ、震災からの復興に役立ててください、と国際農業ジャーナリスト連盟（IFAJ）からの義援金を贈りました。

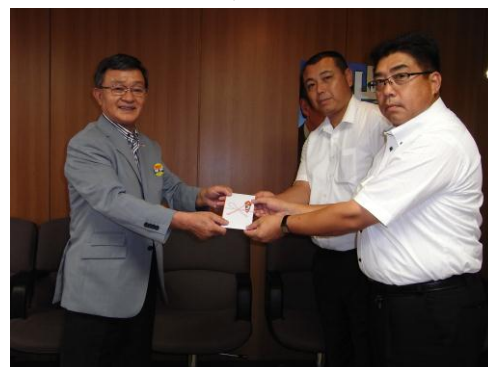
IFAJは2007年9月に、日本で世界大会を開き、約150人が東北の農業、農村を視察しました。その時、JA宮城中央会は地元の食材を提供するなど協力しました。今回の義援金は、「自分たちが訪れた日本の農村が大変なことになった。何か手助けを」と、当時のもてなしに感激した世界各国の農政ジャーナリストが、それぞれの母国で1年越しの募金活動で集めたものです。IFAJとしては初めての募金活動だそうです。

4. 宮城県JA農機担当者連絡協議会と県系統農機メーカー連絡協議会が義援金

「津波被害を受けた沿岸JAの復興に役立ててください」と、宮城県JA農機担当者連絡協議会と宮城県系統農機メーカー連絡協議会は8月2日、チャリティーオークションの売上金合計20万円をJAグループ宮城災害復興本部に贈りました。

チャリティーオークションは6月に仙台市内で行われた、JAグループ宮城担い手営農復興支援ビッグフェア2012 in 宮城・農業機械大展示会で実施したものです。

JAや農機メーカーから子ども用ミニトラクター、刈り払い機、漬物やうどんなどの地場産品が出品されました。



5. JA全農山形と全農みやぎが亘理町の仮設住宅で復興支援交流会

JA全農山形と全農みやぎは8月18日、亘理町の仮設住宅で、入居者を招いて震災復興支援交流会を開きました。全農山形の職員らは山形伝統の花笠踊りを披露。仮設入居者も飛び入り参加して楽しみ、子どもたちによるスイカ割り大会も行いました。山形牛を使った山形風芋煮や尾花沢産スイカ、玉こんにゃくその他、全農みやぎからは県産「ひとめぼれ」のおにぎり、亘理産キュウリの1本漬け150食分が振る舞われました。



6. 竹中副会長らが山形を訪れ、全農山形の一連の支援に感謝

東日本大震災以来、本県はJA全農山形より、継続して物心両面で多大な支援を頂いており、この6・7月にも、被災JAおよび名取市内全小中学校へ「復興支援サクランボ」を頂きました。

これら一連の支援に対し、感謝の意を表すために、JA全農みやぎ運営委員会の竹中莞爾副会長、JA名取岩沼の高橋弘次組合長らは8月27日、山形市を訪れ、全農山形の長澤豊会長にお礼の言葉を述べました。



7. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第12次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は8月23日の第13回総会で、東電への第12次請求を10億1212万8928円とすることを決め、8月31日に請求しました。今回から新たにタケノコの出荷停止等に係る損害（約189万円）、柿の除染等に係る損害（約637万円）を加えました。

東電からは7月31日から8月9日までに、仮払い、本払い合わせて約5億7000万円が入金し、会員に振り込まれました。8月9日現在、請求総額は約116億2400万円、受領総額は約74億9100万円で、請求対比64.4%となっています。

8. JAグループ宮城が亶理町で復興ボランティア活動

JA宮城中央会、JA全農みやぎ、農林中央金庫仙台支店、農協観光宮城支店の職員は8月20日～23日と27日～30日の合わせて8日間、災害復興ボランティアとして、亶理町吉田地区のイチゴ農家でパイプハウスの組み立てなどを手伝いました。1日5人ずつで延べ40人が参加しました。

また、JA共済連宮城は9月下旬、独自に全職員ボランティア活動を実施する予定です。



JAグループ職員が被災農家の営農再開をお手伝い

以上